

# 2019年度大子特別支援学校経営計画

## 本県の教育目標

ひとりひとりの能力を開発し  
豊かな人間性をつちかう  
じょうぶな身体をつくり  
たくましい心を養う  
郷土を愛し  
協力しあう心を育てる

## いばらき教育プラン基本方針 H28~H32

一人一人が輝く、教育立県を目指して  
一人一人が輝く活力ある学校づくり

- 1 社会全体による子どもたちの自主性・自立性の育成
- 2 確かな学力の習得と活用する力の育成
- 3 生涯にわたる学習と文化芸術、スポーツ活動の推進
- 4 誰もが安心して学べる教育環境づくり

## 本県の学校教育推進の柱

- 1 確かな学力を育む教育の推進
- 2 豊かな心を育む教育の推進
- 3 健やかな体を育む教育の推進
- 4 時代の変化やグローバル社会に対応できる教育の推進
- 5 自立と社会参加に向けた特別支援教育の推進

## 本県の目指す教師像

- 1 教育者として資質能力に優れた、人間性豊かな教師
- 2 使命感に燃え、やる気と情熱をもって教育に当たることができる活力に満ちた教師
- 3 広い教養を身に付け、子どもとともに積極的に教育活動のできる指導力のある教師
- 4 子どもが好きで、子どもとともに考え、子どもの気持ちを理解できる教師

## 特別支援学校における教育の充実

- 1 一人一人の教育的ニーズに応じた指導の一層の充実
- 2 学校教育全体を通じたキャリア教育の推進
- 3 幼児児童生徒の相互理解を深めるための交流及び共同学習の推進
- 4 地域における特別支援教育のセンターとしての役割の充実

## (1) 教育目標

### 自主・自律・挑戦

～ゆめへの一歩を踏み出そう～

子どもの可能性を最大限に伸ばし、人や社会とつながりながら、自分らしく、自分から、(自主・自律)社会参加(挑戦)できる力を育む。

### 具現化のための2つの柱



**授業**(主体的・対話的で深い学び)

子どもも教師もわくわくする授業

- ・体験を重視した授業
- ・子どもの気付きを大切にする授業
- ・人や社会とつながる授業



**環境**

安全・安心のある教育環境

- ・ICT教育環境の整備
- ・4Sの徹底
- ・ゆめのある教育環境

## (2) 目指す姿

### 目指す児童生徒像

自分に自信をもって、  
自分らしく、自分から、感じて、考えて、行動する子


### 目指す教師像


使命感と情熱をもって  
自分らしく、自分から、感じて、考えて、挑戦する教師  
楽しい授業をデザインできる教師

### 目指す学校像

「わくわく感」を大切にし  
子どもや教師の「やりたい」を、人や社会とつながりながら実現できる学校

### (3) 本年度の重点目標

-  **授業** (主体的・対話的で深い学び)  
**子どもも教師もわくわくする授業**
- ・体験を重視した授業
  - ・子どもの気付きを大切にする授業
  - ・人や社会とつながる授業

-  **環境**  
**安全・安心のある教育環境**
- ・ICT 教育環境の整備
  - ・4S の徹底
  - ・ゆめのある教育環境

#### ① 子どもも教師もわくわくする授業

##### キーワードは“ゆめ”

##### **スポーツ、文化・芸術活動の推進**

- いきいきゆめ国体、いきいきゆめ大会を盛り上げる取り組み
- スポーツ交流の推進
- 新たな視点による作業学習の工夫
- 本物に触れて心を揺さぶる学習活動

##### **研究・研修、学習指導における面白い授業づくりの推進**

- 安心して失敗し、失敗からの学びを大切に授業
- 一人一人の個性を生かし、子どもの気付きを大切に授業  
※できた、わかった、もっとやってみよう授業
- 教科横断的、探求的な学習を大切に授業
- 全ての児童生徒に自立活動（個別指導）の時間を確保
- 障害の重度・重複・多様化に対応した授業づくり

##### **社会参加の推進**

- ICT 機器等テクノロジーの視点を取り入れた社会参加、社会貢献活動の推進
- 社会資源や自然を生かした個別の校外学習（フィールドワーク）の実施

##### **キャリア教育の推進**

- 一人一人に応じた丁寧な進路指導
- 小学部からのキャリア教育

##### **生徒指導の推進**

- 行動分析を取り入れた行動の背景に基づく生徒指導
- 道徳推進教員を中心とした道徳の授業づくりや評価の工夫

##### **保健安全・防災安全の推進**

- 自分で考え行動できる防災教育、健康教育の新たな取り組み
- 保健・安全・防災の日常化

#### ② 安全・安心のある教育環境

##### **ICT 教育推進教育環境の整備**

- 体験型研修の充実
- 使いやすい管理体制の構築

##### **4S の徹底**

- **子どもの手本に**
- 外部からの意見聴取

##### **子どもの目線に立った安全で夢のある環境づくり**

- ヒヤリハットの収集と分析
- 豊かな感性、精神的な安定

## (4) 現状と課題

### < 授業 >

#### 🍎 教育課程

- 前年踏襲による手段の目的化が散見する。
- 障害者スポーツの推進を含み、内容をさらに工夫しスポーツ交流をさらに推進する必要がある。
- 単元に追われ、失敗させる余裕がない。児童生徒の気付きに基づく授業展開を行う余裕のない時間割編成となっている。

#### 🍎 授業内容・方法

- 安心して失敗し、失敗からの学ぶ授業内容にする必要がある。
- 知識を教えることに偏重する傾向がある。今後は、教科横断的、探求的な学習内容、方法を工夫する必要がある。
- 場所や時間の工夫を行い、障害の重度・重複・多様化に対応した授業づくりを行う必要がある。
- 作業学習が、製品作りにおける態度の育成に重点が置かれている傾向にある。今後は、主体的な活動を引き出す工夫など、新たな視点による作業学習の工夫が必要である。
- けがなどを警戒する余り、必要以上の支援を行ってしまう傾向が見られ、児童生徒の自立心の育ちを妨げている可能性がある。
- 小規模校であるが、学部、学年単位の意識が強い傾向にある。教師の専門性を生かして、学部や学年にとられない柔軟な指導体制を構築する必要がある。

#### 🍎 社会参加

- ICT 機器等テクノロジーの視点を取り入れた社会参加、社会貢献活動の工夫をする必要がある。
- 児童生徒の社会参加の欲求はあるが、その機会や場所の提供をさらに進める必要がある。また、地域の社会資源や自然をもっと生かす必要がある。

#### 🍎 キャリア教育

- 高等部がないため、中学卒業時の進路選択が多岐にわたっている。しかし、情報を十分に伝え切れていないことや、ある程度精査した情報を伝える傾向があるため、改善の必要がある。
- 一人一人に応じた丁寧な進路指導だけでなく、小学部からのキャリア教育を推進する必要がある。

#### 🍎 生徒指導

- 長中期的な指導内容を工夫するとともに、行動分析を取り入れた行動の背景に基づく指導を取り入れる必要がある。
- 道徳推進教員を中心とした道徳の授業づくりや評価の工夫を行う必要がある。

#### 🍎 保健安全・防災安全

- 教師の話をよく聞いて避難する訓練はできているが、自分で考え行動できる防災教育、健康教育の新たな取り組みを行う必要がある。
- 保健・安全・防災の日常化など、授業に取り入れる必要がある。

### < 教育環境 >

#### 🍎 ICT 教育推進教育環境の整備

- 体験型研修をさらに充実させる。
- 使いやすい管理体制の構築

#### 🍎 4S の徹底

- **子どもの手本に**
- 外部からの意見聴取

#### 🍎 子どもの目線に立った安全で夢のある環境づくり

- ヒヤリハットの収集と分析
- 豊かな感性、精神的な安定

## (5) 中期的目標

- 主体的、対話的で深い学びを実現するため、個別の指導計画、年間指導計画の作成について、改善を重ね、その目的に立ち返り、形式や記入内容を検討し、必要なシステムを構築する。(わくわく授業プロジェクト)
- 安全・安心のある教育環境を整え、特別支援教育の地域のセンターとして、その情報を発信する。

### 🍎 カリキュラム・マネジメントを中心に、魅力ある授業づくりのできる教員集団を目指す。

#### 2019年度(変革の第1歩)

- ・年間指導計画の見直し改善
  - ※ゆとりのある授業計画、教員一人一人の専門性やアイデアを生かす授業展開。
- ・体験重視の授業への転換(試行的実施)を図る。
  - ※個別のフィールドワーク一人2回以上実施
  - ※「発見! わくわく授業」ホームページ掲載一人一事例
  - ※ICT 機器等テクノロジーの視点を取り入れた授業づくり
- ・個別の指導計画の見直し改善①
  - ※企画文書係を中心に、さらに意義のあるものへの改善案を提案する。(道徳を含める)
- ・スポーツ交流をはじめとし、障害者スポーツの理解促進に努める。
  - ※いきいき夢国体、いきいきゆめ大会への参画
- ・児童生徒の社会貢献の推進。

#### 2020年度(変革の年)

- ・個別のフィールドワークによる、RPDCAの実行。新システムによる上記の作成を行う。
- ・スポーツ交流をはじめとし、障害者スポーツの理解促進に努める。(オリンピック、パラリンピック)
- ・見直し改善を行い、検討を重ね、大子特別支援学校の特色ある教育課程の編成を目指す。
- ・個別の指導計画の見直し改善②
  - ※企画文書係を中心に、新たな様式及びスケジュールに基づき作成する。(道徳を含める)

#### 2021年度~2022年度(見直し改善)

- ・大子特別支援学校の強みを生かした、魅力ある授業が展開できる学校として、情報発信する。
- ・上記のことについて、さらに見直し改善を図る。

### 🍏 ICT教育推進教育環境の整備をすすめ、子どもの可能性をさらに高める。

#### 2019年度

- ・ハード面の整備①(必要なツールを順次計画的に導入し、「いつでも、だれでも使える」を目指す。)
  - ※先進校視察
  - ※体験型研修の実施

#### 2020年度

- ・ハード面の整備②(使いながら必要な物品を揃えていく)
- ・見直し改善を行い、検討を重ね、大子特別支援学校の特色ある教育課程の編成を目指す。

#### 2021年度~2022年度

- ・大子特別支援学校の強みを生かした、魅力ある教育環境を整備し、情報発信する。
- ・上記のことについて、さらに見直し改善を図る。